

# **SilkPerformer 2011**

## **SOA Edition リリースノート**

**Borland**<sup>®</sup>  
(A MICRO FOCUS COMPANY)

 **MICRO**<sup>®</sup>  
**FOCUS**

**Micro Focus**  
575 Anton Blvd., Suite 510  
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus IP Development Limited 2011. All rights reserved.  
SilkPerformer は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます,  
Copyright 2011 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

# 目次

<b>SilkPerformer リリース ノート</b>	<b>4</b>
<b>SilkPerformer 2011 の新機能</b>	<b>5</b>
開始画面	5
ブラウザ駆動型負荷テストの強化	5
SilkPerformer Cloudburst の強化	6
Microsoft Silverlight のサポート	6
Microsoft Windows 7 および Microsoft Windows Vista の UAC への準拠	6
プロジェクト エージェント構成の強化	7
特定のユーザー アカウントでのエージェント起動	7
構成可能なリモート エージェント Java 設定	7
相互負荷テストレポートの強化	8
カスタム変換を使用した記録ルール	8
使用技術の更新	8
ユーザビリティ機能の強化	9
サポートの終了	10
<b>テスト済みソフトウェア</b>	<b>11</b>
<b>システム要件と事前要件</b>	<b>13</b>
<b>インストール手順</b>	<b>15</b>
<b>SilkPerformer の既知の問題</b>	<b>16</b>
SilkPerformer に関する一般的な問題	16
Performance Explorer の問題	17
TrueLog Explorer の問題	18
Web の問題	19
<b>解決済みの問題</b>	<b>21</b>

# SilkPerformer リリース ノート

**バージョン 2011**

**2011 年 6 月**

このファイルには、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。最後までお読みくださるようお願いいたします。

インストール、デプロイメント、ライセンス管理に関する情報については、『[SilkPerformer インストール ヘルプ](#)』を参照してください。

さらなる Customer Care による支援については、[supportline.microfocus.com](http://supportline.microfocus.com) にアクセスしてください。

# SilkPerformer 2011 の新機能

SilkPerformer 2011 では、大きな機能強化と変更が導入されました。

## 開始画面

SilkPerformer Workbench の起動時に、新しい **開始画面** が開き、簡単にツールを使い始めることができるよう各種リンクが提供されます。次のオプションのいずれかを行うことができます。

- 新しいまたは既存のプロジェクトを開きます。
- 最近使ったプロジェクトまたはファイルを表示するか、開きます。
- 新しい機能の一覧を表示します。
- ソフトウェアを初めて使用する場合に役立つ、チュートリアルにアクセスします。
- Micro Focus Community および SupportLine へのリソース リンクを表示し、サポートの提供を受けます。

この **開始画面** ペインは、閉じるまでか、**スタートアップ時に開始画面を表示する** のオプションの選択を解除するまで、開かれたままになります。

## ブラウザ駆動型負荷テストの強化

### IE 互換モード

新しい **IE 互換モード** 設定が **プロファイル - Web (ブラウザ駆動)** ダイアログ ボックスの **再生** タブに追加されました。これにより、異なる HTTP ヘッダーをサーバーに送信し、Web コンテンツをレンダリングするように Windows Internet Explorer (IE) のバージョンを構成できます。たとえば、IE9 を IE7 として IE7 ヘッダーを送信し、IE7 としてレンダリングできます。

### Web ブラウザ ウィンドウでのナビゲーションの向上

複数の新しい機能が追加され、テスト中に実行する模擬アクションに対する Web ブラウザ ウィンドウでのナビゲーションが向上しました。ブラウザ ウィンドウで新しいタブを追加したり、ユーザーの保存アクションを検出するためにファイルのダウンロードをシミュレートできるようになり、ダイアログでのボタンアクションとテキスト入力分析されるようになりました。

ブラウザ駆動型負荷テストでは、スクリプトを表示しているときに垂直方向と水平方向にスクロールできるようになりました。これは、スクリプトを分析するときに便利で、ウィンドウの下部にあるデータを簡単に見つけることができます。このスクロール機能をサポートする 2 つの新しい関数 (BrowserGetScrollPos と BrowserSetScrollPos) が導入されています。

### 新しいブラウザ駆動型 BDL 関数

上記の新しい機能をサポートするために次の新しいブラウザ駆動型 Web 負荷テストの関数が追加されました。

- BrowserCreateWindow
- BrowserDlgSetButton
- BrowserDlgSetText
- BrowserDlgStop
- BrowserExecuteJavaScript
- BrowserFileDownload

- BrowserGetIEMode
- BrowserSetIEMode
- BrowserGetScrollPos
- BrowserSetScrollPos

## SilkPerformer Cloudburst の強化

### クラウド ベースの地域要約レポート

地域要約レポートでは、地理的な地域全体でクラウド ベース負荷テスト測定値が収集されます。負荷テストでクラウド ベース エージェントが使用される場合、SilkPerformer では、クラウド地域ごとに (および、使用される場合はプロジェクト エージェントについて) 地域固有データがキャプチャされます。地域要約レポートは、ベースライン レポートに類似しています。地域要約レポート ファイルのファイル拡張子は .rsr で、結果ディレクトリに保存されます。

地域要約結果ノードを表示するには、**結果** タブで負荷テストに続く **地域要約レポート** ノードが展開されます。

### 地域比較レポート

地域比較レポートでは、クラウド ベースの負荷テスト測定値が、地理的な地域全体で比較されます。1 列ごとに 1 地域で、異なる地域の結果が並べられます。

地域比較レポートの設定には、非常に多くのオプションを使用できます。合計テスト結果には、すべての地域からの測定値結果が含まれますが、地域固有の測定値結果を並べて比較することができます。また、地域比較レポートは、個々の地域結果から選択した組み合わせのデータのみを含めるよう、設定することもできます。

(**検討** タブから個々の地域ノードをドラッグ アンド ドロップすることによって) 追加の地域結果を既存のレポートに追加することができ、また、(**クライアントの測定値** ノードをレポートにドラッグ アンド ドロップすることによって) 合計の地域結果を既存のレポートに追加することもできます。

## Microsoft Silverlight のサポート

SilkPerformer は現在、Microsoft Silverlight バージョン 4 および 5 をサポートしています。

Microsoft Silverlight ブラウザ ベース アプリケーションを SilkPerformer を使用してテストするワークフローは、次の例外を除き、Web ベース アプリケーションのテストに使用するワークフローと同じです。

- **ワークフロー - プロジェクトの概要設定** ダイアログの **Web ブラウザ** ノードの下で、Silverlight を選択する必要があります。

## Microsoft Windows 7 および Microsoft Windows Vista の UAC への準拠

Microsoft Windows 7 および Microsoft Windows Vista システムのユーザー アクセス制御 (UAC) をサポートするために、SilkPerformer に、システム セキュリティを増進する拡張ディレクトリ構造が搭載されました。特に、**Working** ディレクトリは廃止され、**Working** ディレクトリの子ディレクトリはすべて、ディレクトリ構造の他の領域に移行しました。



**注:** UAC への準拠は、TrueLog Explorer、Performance Explorer、.NET Explorer、および Java Explorer のフォルダ構造についても導入されました。

UAC は、アプリケーション ソフトウェアの権限を標準ユーザー レベルに制限することによって、システム セキュリティを増進する Microsoft Windows テクノロジーです。ユーザーは、信頼できると考えられるアプリケーションに管理者レベル権限を明示的に付与することができます。

### マイ ドキュメントの新しい SilkPerformer フォルダ

**Custom Data**、**Custom Include**、および **Projects** の各フォルダは、デフォルトでマイ ドキュメント フォルダに表示されるようになりました。現在、**パブリックのドキュメント/共有ドキュメント** ディレクトリに置かれている **Data**、**RecordingRules**、**SampleApps** の各ディレクトリへのショートカットは、**マイ ドキュメント** にも含まれます。

### 新しい RecordingRules フォルダ

記録ルールは、**Include** フォルダに保存されなくなりました。現在では、新しい **RecordingRules** フォルダに保存されます。

### 一時ファイル

一時ファイルは、現在のユーザーとすべてのユーザーのアプリケーション データ ディレクトリ (たとえば、%LOCALAPPDATA%\Silk\SilkPerformer 2011\Temp) に保存されるようになりました。

## プロジェクト エージェント構成の強化

**プロジェクト エージェントの設定** ダイアログには 構成してプロジェクトにインクルードできるすべての エージェントがリストされる **使用可能なエージェント** ペインと、構成され、プロジェクトで使用できる エージェントがリストされる **プロジェクト エージェント** ペインがあります。

強化された内容は、次のとおりです。

- エージェント名をダブルクリックすると、片方のペインからもう一方のペインにエージェントを移動できます。
- エージェント名にカーソルを重ねると、ツール チップに、そのエージェントのシステムとエージェント バージョンの詳細が表示されます。
- **プロジェクト エージェント** ペインにリストされた外部エージェント (疑問符のアイコン) を右クリックして **エージェント プールに追加** を選択すると、エージェント プールに追加できます。

## 特定のユーザー アカウントでのエージェント起動

すべてのエージェントに対して使用する特定のユーザー アカウント資格情報を一か所で指定できるようになりました。この機能により、デフォルトのシステム アカウントではなく、特定のユーザー アカウントでエージェントを起動できます。

新しい **詳細** タブが、**設定 > システム > エージェント** に追加されました。このタブには、新しいチェック ボックス **特定のユーザー アカウントを使用する** が用意されており、このチェック ボックスをオンにして、テストするエージェントを起動する権限を持つユーザー名とパスワード資格情報を指定できます。

## 構成可能なリモート エージェント Java 設定

リモート エージェント マシン上の JRE または JDK の場所として、ワークベンチ マシン上の Java ホーム 設定の場所とは異なるファイルパス情報を入力することができます。これは、ワークベンチとリモート エージェント マシンの間で同一の Java ホーム設定を維持する必要はないことを意味します。JDK をインストールせず、JRE だけをリモート マシン上にインストールすることも選択できます。

**設定 > システム > Java** に、新しいリモートタブが追加されました。このタブには、**Java ホーム、クラスパス、およびコマンドライン オプション**の、3つのコントロールがあります。これらのコントロールは、同じ場所にある**全般**および**詳細**タブにあるワークベンチ Java コントロールを反映しています。

**設定 > アクティブ プロファイル > Java** には、対応するプロファイル設定タブがあり、その初期値はリモートエージェント設定の**設定 > システム > Java** から取り出されます。それは、テスト時にリモートエージェントに実際に適用されたアクティブ プロファイル タブの値です。

## 相互負荷テスト レポートの強化

### SilkPerformer の結果に対して生成可能

Silk Performance Explorer を使用して、SilkPerformer テスト結果の相互負荷テスト レポートを生成できるようになりました。以前は、相互負荷テスト レポートを生成できるのは、SilkCentral Test Manager からダウンロードした結果に対してだけでした。

SilkPerformer テスト結果の相互負荷テストを生成するには、Silk Performance Explorer ツールバーの**相互負荷テスト レポートの新規作成** ボタンをクリックします。**検討** メニュー ツリーから測定値 (ローカル結果) をレポートにドラッグします。

### クラウド ベースの地域測定値

SilkPerformer のクラウド ベースの地域測定値を相互負荷テスト レポートに組み込むことができるようになりました。地域測定値を既存の相互負荷テスト レポートに追加するには、**検討** メニュー ツリーから地域測定値 (**地域** ノード) をレポートにドラッグします。

### ユーザー グループのレイアウトの向上

相互負荷テスト レポートのレイアウトが向上され、複数のユーザー グループがある場合に、すべてのユーザー グループの要約が (以前のように一覧の最後ではなく) 一覧の最初に表示されるようになりました。

## カスタム変換を使用した記録ルール

ユーザーは、独自のカスタム変換関数を書き、この変換関数を記録ルールに指定できます。変換関数は、ネイティブ DLL ファイル (C/C++ でプログラムを記述) に含まれます。変換関数内で、解析ルールの値が、指定された関数を使用して変換されます。解析関数では、元の値のみが解析されます。

たとえば、サーバーによって返される値が Double 形式で、クライアントが送信する値が整数形式の場合があります。したがって、簡単な解析ルールでは、スクリプトに一致を見つけることができません。ただし、整数を Double 形式に変換するカスタム変換関数を適用すると、解析ルールでは、想定される一致を再度見つけることができます。

記録ルールの構造と構文に関する情報や、カスタム変換関数の詳細に関する情報が必要な場合は、*SilkPerformer Advanced Concepts* を参照してください。

## 使用技術の更新

SilkPerformer2011 では、以下の最新技術およびアプリケーションのテストをサポートしています。

### WCF および .NET 4.0 アセンブリ

.NET Explorer は現在、WCF Web サービスおよび .NET 4.0 アセンブリのテストをサポートしています。さらに、SilkPerformer の .NET API が更新され、やはり .NET 4.0 アセンブリをサポートするようになりました。



## SAPGUI 7.20

SilkPerformer は現在、SAPGUI 7.20 をサポートしています。

## WebLogic Server 11.x を監視する

WebLogic Server バージョン 8.x、9.x、および 10.x に対する Performance Explorer を使用した長年にわたる監視サポートに加え、SilkPerformer では、JMX 経由で WebLogic Server 11.x がサポートされるようになっています。

WebLogic Server 11.x のサポートには、次のものが含まれます。

- WebLogic Server 11g (10.3.1)
- WebLogic Server 11gR1 PS1 (10.3.2)
- WebLogic Server 11gR1 PS2 (10.3.3)
- WebLogic Server 11gR1 PS3 (10.3.4)



**注:** Oracle WebLogic Application Server を監視できるようになる前に、一部のサーバー側設定を実行する必要があります。詳細については、Performance Explorer ヘルプを参照してください。

## Perfmon を使用して Oracle データベースを監視する

Performance Explorer は長年にわたり、V\$SYSSTAT を介した Oracle データベースの監視をサポートしてきましたが、Perfmon を介して Oracle データベースを監視できるようになりました。Windows パフォーマンス モニタに、多数の Oracle カウンタを追加することができます。

## SilkCentral Test Manager の最新バージョンを監視する

Performance Explorer には、SilkCentral Test Manager 2008、2008 R2、2009、2009 R2、2010、2010 R2、および 2011 のアプリケーション サーバーおよびフロントエンド サーバーを監視する事前定義データソースが含まれます。

## Internet Information Services (IIS) の最新バージョンを監視する

Performance Explorer が更新され、現在サポートされている IIS の次のバージョンを監視する事前定義データソースが含められました: Internet Information Services (IIS) 5.1、6.0、7.0、7.5

## Microsoft SQL Server の最新バージョンを監視する

Performance Explorer が更新され、現在サポートされている Microsoft SQL Server の次のバージョンを監視する事前定義データソースが含められました: Microsoft SQL Server 7.0、2000、2005、2008、2008 R2

## ネットワーク環境をシミュレートするための更新済みのブラウザ リスト

プロジェクト プロファイル設定でシミュレートされるネットワーク環境用の使用可能なブラウザ リストが拡張され、Windows Internet Explorer 9.0、Mozilla Firefox 4.0、iPhone、iPad、Android、および Blackberry が含められました。サポートされなくなったテクノロジー (Phone.Com Generic Toolkit 4.0、Nokia Toolkit 1.3、i モード) がリストから削除されました。

# ユーザビリティ機能の強化

SilkPerformer 全体にわたって、以下のようにユーザビリティ機能が強化されています。

## 強化されたネットワーク シミュレーション設定

ネットワークシミュレーションプロファイル設定が、帯域幅シミュレーションの設定を簡素化するために変更されました。GPRS、WLAN、モデム、またはDSLなど、接続タイプのリストから選択し、スライダコントロールでアップストリーム速度およびダウンストリーム速度を変更することができます。

## SilkCentral Test Manager インテグレーションの強化

テスト結果を SilkCentral Test Manager にアップロードするときに、**終了時にアップロードパスを自動的に開く** チェックボックスをオンにすると、Test Manager を自動的に起動し、選択されたテスト定義に直接移動することができます。

さらに、負荷テストの完全な名前が表示され、Test Manager でカスタマイズされます。Test Manager から結果をダウンロードするときに、SilkPerformer および Performance Explorer によって、Test Manager で定義されたとおりにテストの名前が表示されます。

# サポートの終了

次のテクノロジーが廃止になり、このバージョンの SilkPerformer ではサポートされていないことに注意してください。


- 廃止されたテクノロジーの一部は、Performance Explorer の、事前定義された監視データソースのリストから削除されています。
- WAP ブラウザおよびゲートウェイ (Opera、Nokia、Phone.Com、OpenWave、WAP Lite など)
- Microsoft Visual Studio 2005

さらなる Customer Care による支援については、[supportline.microfocus.com](http://supportline.microfocus.com) にアクセスしてください。

# テスト済みソフトウェア

このセクションでは、SilkPerformer がテストされたソフトウェアの一覧を示します。

システム領域	テスト対象
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft Windows XP サービス パック 3</li><li>• Microsoft Windows XP 64 ビット サービス パック 3</li><li>• Microsoft Windows Server 2003 サービス パック 2</li><li>• Microsoft Windows Server 2003 64 ビット サービス パック 2</li><li>• Microsoft Windows Vista サービス パック 2</li><li>• Microsoft Windows Vista 64 ビット サービス パック 2</li><li>• Microsoft Windows Server 2008 サービス パック 2</li><li>• Microsoft Windows Server 2008 64 ビット サービス パック 2</li><li>• Microsoft SQL Server 2008 R2</li><li>• Microsoft SQL Server 2008 R2 サービス パック 1</li><li>• Microsoft Windows 7 32 ビット</li><li>• Microsoft Windows 7 64 ビット</li><li>• Microsoft Windows 7 32 ビット サービス パック 1</li><li>• Microsoft Windows 7 64 ビット サービス パック 1</li></ul>
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"><li>• Windows Internet Explorer 6.0、7.0、8.0、9.0</li><li>• Opera 8.5.1、9.2</li><li>• Mozilla Firefox 3.0 以降</li><li>• Google Chrome</li></ul>
SOAP サポート	<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft SOAP Toolkit 2.0 サービス パック 2 (SP2)、Internet Information Server 5</li><li>• Apache-SOAP バージョン 2.1、TOMCAT バージョン 3.1</li></ul>
Web サービス サポート	<ul style="list-style-type: none"><li>• Axis 1.x</li><li>• Axis2 1.4、1.5</li><li>• GlassFish Metro 1.5</li></ul>
Java サポート	<ul style="list-style-type: none"><li>• Java Runtime Environment 1.2.2: classic および hotspot 1.0</li><li>• Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7</li><li>• IBM Java Development Kit 1.3</li><li>• Eclipse 3.2、3.3、3.4、3.5、3.6</li></ul>
.NET サポート	<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft .NET Framework 1.0、1.1、2.0</li><li>• Microsoft .NET Framework ランタイム 4.0</li><li>• Microsoft Visual Studio 2008 および 2010</li></ul>

システム領域	テスト対象
リッチ インターネット アプリケーション (Web 2.0)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• WCF Web サービス</li> <li>• Microsoft Silverlight 4、5</li> <li>• Adobe Flex 2、3、4</li> <li>• Google Web Toolkit</li> <li>• ExtJS 3</li> <li>• Eclipse RAP</li> <li>• script.aculo.us</li> </ul>
SNMP サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SNMPv2-MIB</li> <li>• RFC1213-MIB</li> <li>• RDBMS-MIB</li> <li>• ORADB-MIB</li> <li>• httpServer-MIB</li> <li>• ftpServer-MIB</li> <li>• SUN-MIB</li> <li>• BEA-WEBLOGIC-MIB</li> <li>• APPSRV_MIB (NetDynamics)</li> <li>• SQUID-MIB</li> </ul> <p>  <b>注:</b> Web 上で RFC およびベンダーの MIB を検索するには、<a href="#">The Internet Engineering Task Force</a> を参照してください。         </p>
ファイアウォール トンネリングのためのプロキシ サーバ —	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Proxy Server 2.0</li> <li>• Netscape Proxy Server 3.5 (Netscape Proxy Server における不具合のため、HTTP トンネリングはサポートされていません)</li> <li>• WinGate 4.0.1</li> <li>• Squid 2.3.STABLE4 (LINUX)</li> <li>• Squid 2.4 STABLE3 (LINUX)</li> <li>• Dante 1.1.6 (LINUX)</li> </ul>
ソース コード管理インテグレーション (SCCI) サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• StarTeam (SCC インテグレーション パッチ付) 2005 R2、2006、2008</li> <li>• Microsoft Visual SourceSafe 6.0c、6.0d、2005</li> <li>• Merant Version Manager 8.0.2.0</li> </ul>

# システム要件と事前要件

以下の表は、SilkPerformer をインストールおよび実行するための、システム要件を示したものです。SilkPerformer パフォーマンスとスケーラビリティについては、「パフォーマンスおよびスケーラビリティのマトリクス」を参照してください。

## ハードウェア要件

SilkPerformer エージェントソフトウェア、もしくは、コントローラとエージェントの両ソフトウェアを実行し、大規模負荷テストを実行するために SilkPerformer のポテンシャルを最大限に利用するには、お持ちのシステムが次の最低要件を満たしている必要があります。

表 1：負荷テスト

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	512 MB 推奨 (最小) 1 GB 推奨
仮想メモリ	RAM の 3 倍の仮想メモリ
ハードディスク領域	コントローラ ソフトウェア インストールに 650 MB エージェントのみをインストールする場合に 170 MB 行う負荷テストのサイズに応じて、その結果ファイルのための十分な空き容量がお使いのハードディスク上にあるかどうか確認してください。
ネットワーク	TCP/IP を伴う Windows ネットワーク (リモート SilkPerformer エージェント コンピュータを利用する場合)
ネットワーク アダプタ	10 MBit 推奨 (最小) 高速 Ethernet 推奨

SilkPerformer の機能を、トラフィックの記録、スクリプティング、監視に使用する場合には、お使いのシステムが以下の最小要件を満たしている必要があります。

表 2：記録、スクリプティング、監視

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	256 MB
ハードディスク領域	440 MB
ネットワーク	TCP/IP

## ソフトウェア要件

SilkPerformer をインストールし、実行するには、お持ちのシステムに、最小限のソフトウェア コンポーネント群が必要となります。

必要とされる個々のコンポーネントは、インストールの種類によって異なります。たとえば、SilkPerformer Java Explorer を実行するには、システムに Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7 のいずれかがインストールされていなければなりません。コンポーネントはそれぞれ該当するベンダーの Web サイトからダウンロードしてください。

- Microsoft .NET Framework 4.0
- Windows Internet Explorer (ブラウザ駆動型記録の場合)
- Adobe Acrobat Reader (ドキュメント参照のため)
- Citrix アプリケーションをテストするための Citrix XenApp クライアント 11、11.2、12.0 または Citrix Web インターフェイス 5.1、5.2、5.3
- Java Explorer で Java アプリケーションをテストするための Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7

# インストール手順

インストール、デプロイメント、ライセンス管理に関する情報については、『[SilkPerformer インストールヘルプ](#)』を参照してください。

## ライセンス情報

SilkPerformer2011 には、新たに 8.3 のライセンスが必要です。バージョン 2011 へのアップグレード処理をするまでの間、以前のバージョンの SilkPerformer を実行したい場合には、古いライセンスを 90 日間ご利用いただくことができます。

# SilkPerformer の既知の問題

ここでは、SilkPerformer の既知の問題と該当する場合はその回避策について説明します。

## SilkPerformer に関する一般的な問題

### マルチバイト文字セットのサポート制限

**問題：**

マルチバイト文字セット/UTF-8/EUC-JP のプロトコルおよびテストのサポートは特定のアプリケーションの種類に制限されます。

**解決策：**

マルチバイト文字セット/UTF-8/EUC-JP のプロトコルおよびテストのサポートは以下のアプリケーションの種類に制限されます。

- Web アプリケーション テスト (プロトコル レベルおよびブラウザ駆動レベル)
- SAPGUI テスト
- Oracle Forms/Oracle Applications テスト
- Citrix テスト

### 64 ビット オペレーティング システムで ShopIt が動作しない

**問題：**

64 ビット オペレーティング システムに ShopIt をインストール後、ブラウザにアプリケーションが表示されません。

**解決策：**

64 ビット システムの IIS では、32 ビット アプリケーションを有効化する必要があります。これを行うには、次の手順を実行します。

1. Internet Information Services (IIS) をマネージャ開きます。
2. **アプリケーションプール** を選択します。
3. IIS で使用するアプリケーションプールを右クリックし、**詳細設定** を選択します。
4. オプション **32 ビット アプリケーションの有効化** を True に設定します。

### 光学式文字認識 (OCR) がマルチバイト文字に対して機能しない

**問題：**

光学式文字認識 (OCR) がマルチバイト文字に対して機能しない



#### 解決策：

残念ながらこの問題の解決策はありません。SilkPerformer では、光学式文字認識を行うのにサードパーティの DLL を使用しており、この DLL は ASCII 文字のみをサポートしています。

## SilkPerformer のコンテキスト ヘルプを Windows Vista で動作させる方法

#### 問題：

SilkPerformer のコンテキスト ヘルプを Windows Vista で動作させる方法を教えてください。

#### 解決策：

SilkPerformer では、GUI コントロールを右クリックして、**ヘルプ** を選択すると、GUI 機能に関する情報が表示されます。このコンテキスト ヘルプは Windows Vista で動作しません。これは既知の問題で、Windows Help プログラム WinHlp32.exe が Windows Vista に搭載されていないことと関連しています。この問題を解決するには、32 ビット .hlp ファイル用のプログラムを Microsoft ダウンロード センターからダウンロードします。詳細については、<http://support.microsoft.com/kb/917607> を参照してください。

## Performance Explorer の問題

### Performance Explorer で MIB のコンパイル時に発生するエラー「内部エラー: MIB ファイルをコンパイルできませんでした (構文を確認してください)」の解決方法

#### 問題：

Performance Explorer で MIB をコンパイルしているときに、エラー 内部エラー: MIB ファイルをコンパイルできませんでした (構文を確認してください) が発生します。解決方法を教えてください。

#### 解決策：

このエラーは、MIB ファイルでモジュール ID よりも後に宣言されている OID (オブジェクト ID) を使用している MIB ファイルをコンパイルしようとしたときに Performance Explorer で発生します。現在、Performance Explorer で MIB をコンパイルするには、モジュール ID よりも前に OID を宣言する必要があります。この問題を解決するには、テキスト エディタで MIB を編集し、モジュール ID よりも前に宣言されるように OID を移動します。

エンタープライズ OID が MIB ファイルから切り取られ、モジュール ID の前に貼り付けられた JVM Management MIB ファイルの抜粋：

```
-- Enterprise OIDs
-----

--      internet          OBJECT IDENTIFIER ::= { iso(1) org(3) dod(6) 1 }
--      private           OBJECT IDENTIFIER ::= { internet 4 }
--      enterprises       OBJECT IDENTIFIER ::= { private 1 }
sun      OBJECT IDENTIFIER ::= { enterprises 42 }
products OBJECT IDENTIFIER ::= { sun 2 }
jmgt     OBJECT IDENTIFIER ::= { products 145 }
-- experimental         OBJECT IDENTIFIER ::= { jmgt 1 }
standard OBJECT IDENTIFIER ::= { jmgt 3 }
```

```
jsr163          OBJECT IDENTIFIER ::= { standard 163 }

-- Module Identity
-----

jvmMgtMIB MODULE-IDENTITY
  LAST-UPDATED "200403041800Z"
  -- Format is "YYYYMMDDhhmmZ"
  ORGANIZATION "Sun Microsystems, Inc."
```

## MHT 概要レポートを Internet Explorer 7 で表示するとグラフィックが表示されない

### 問題：

MHT として保存されている概要レポートを Internet Explorer 7 で表示すると、画像が表示されません。

### 解決策：

Internet Explorer 6 または別のブラウザでレポートを表示します。

## Performance Explorer を使用して監視しているときに JMX 測定値を取得できない

### 問題：

Performance Explorer を使用して監視しているときに JMX 測定値を取得できません。

### 解決策：

この問題が Windows 2003 マシンに影響している場合、以下の SilkPerformer 2007 と 2008 での既知の問題が原因である可能性があります。

JMX 監視は、ターミナル サービスがインストールされた Windows 2003 サーバーでは機能しません (31679)。

これは、SilkPerformer 2007 と 2008 のリリース ノートの「既知の問題」セクションに記載されています。これは、Eclipse での不具合 (#171413) が原因です。詳細については、<https://bugs.eclipse.org/bugs/> を参照してください。

この問題を解決するには、Windows 2003 マシンからターミナル サービスをアンインストールする必要があります。

## TrueLog Explorer の問題

## TrueLog Explorer 入力データのカスタマイズが Windows Internet Explorer 9 に対して正しく機能しない

### 問題：

Windows Internet Explorer 9 を使用して TrueLog Explorer 入力データのカスタマイズを行うと、グラフィック表示が正しく行われず、エラーメッセージが表示されることがあります。

### 解決策：

Windows Internet Explorer 8 の使用を推奨します。

## アクセス中のウイルス スキャナ ソフトウェアにより TrueLog Explorer がクラッシュすることがある

### 問題：

アクセス中のウイルス スキャナにより TrueLog Explorer がクラッシュすることがあります。

### 解決策：

ウイルス スキャナ ソフトウェアは、TrueLog Explorer のクラッシュやパフォーマンスの劣化など、さまざまな問題が発生する可能性があります。負荷テストの間は、エージェント コンピュータおよびコントロール コンピュータでウイルス スキャナ ソフトウェアを無効にすることを推奨します。

## 関連トランザクションがインクルード ファイルにある場合に視覚的なスクリプトの変更に失敗する

### 問題：

関連トランザクションがインクルード ファイルにある場合に、視覚的なスクリプトの変更に失敗します。

### 解決策：

BDH ファイルにトランザクションを移動しないでください。

## Web の問題

### ブラウザ ウィンドウが既にある場合にブラウザ トラフィックの記録が動作しない

#### 問題

ブラウザ ウィンドウが既にある場合にブラウザ トラフィックの記録は動作しません。

### 解決策

スクリプトを記録する前に、すべてのブラウザ ウィンドウを閉じます。

## Opera のバージョン

### Windows Internet Explorer 8 の記録されたスクリプトが Windows Internet Explorer 9 で実行されない (逆の場合も同様)

#### 問題

Windows Internet Explorer 8 の記録されたスクリプトが Windows Internet Explorer 9 で実行されません (逆の場合も同様です)。

#### 解決策

Windows Internet Explorer 8 の記録されたスクリプトは、Windows Internet Explorer 8 を使用して実行します。Windows Internet Explorer 9 の記録されたスクリプトは、Windows Internet Explorer 9 を使用して実行します。

# 解決済みの問題

以下の問題が、SilkPerformer2011 において修正されました。

問題番号	説明	メモ
RPI 1079223	BrowserFind 関数の nTimeout パラメータが指定されたとおりに動作しません。	
RPI 1079128	ヘルプから FormatDateTime サンプルコードを使用すると、Perfrun 処理がクラッシュします。	サンプルコードの余分なスペース文字が削除されました。
RPI 1078461	SilkPerformer のデフォルトの暗号が、OpenSSL の変更後に SSL サーバーの要件に一致しない場合があります。	
RPI 1077832	SilkPerformer のリモート インストールが、MSVCR100.dll がないために失敗します。	
RPI 1077626	終日ワークロードでは、 <b>実行</b> ボタンが無効にされます。	
RPI 1076813	FileGetCol 関数を使用して、列の値の最大長よりも短い nMaxLen の値を指定すると、SilkPerformer によって、「RESERR: 180 - 関数 <FileGetCol> に渡されたバッファは、データを保持するためには小さすぎます」というエラーがレポートされます。	SilkPerformer では警告がレポートされ、末尾が切り落とされて文字列が正しく返されます。
RPI 1072961	プロキシ経由での NTLM 認証サーバーに対するスクリプトの再生は動作しません。	
RPI 582871	リアルタイム測定値は、プロキシ経由で接続されたエージェントでは動作しません。	
RPI 579986	「MIB の新規コンパイル...」が、64 ビット オペレーティング システムでクラッシュします。	